



令和8年6月24日
北九州市環境局

報道機関各位

【第1弾!】Jパワーと北九州市が連携!!

響灘洋上風力の環境価値※を活用し、地域の脱炭素化を後押し ～Zero-Carbon HIBIKI プロジェクト始動!!～

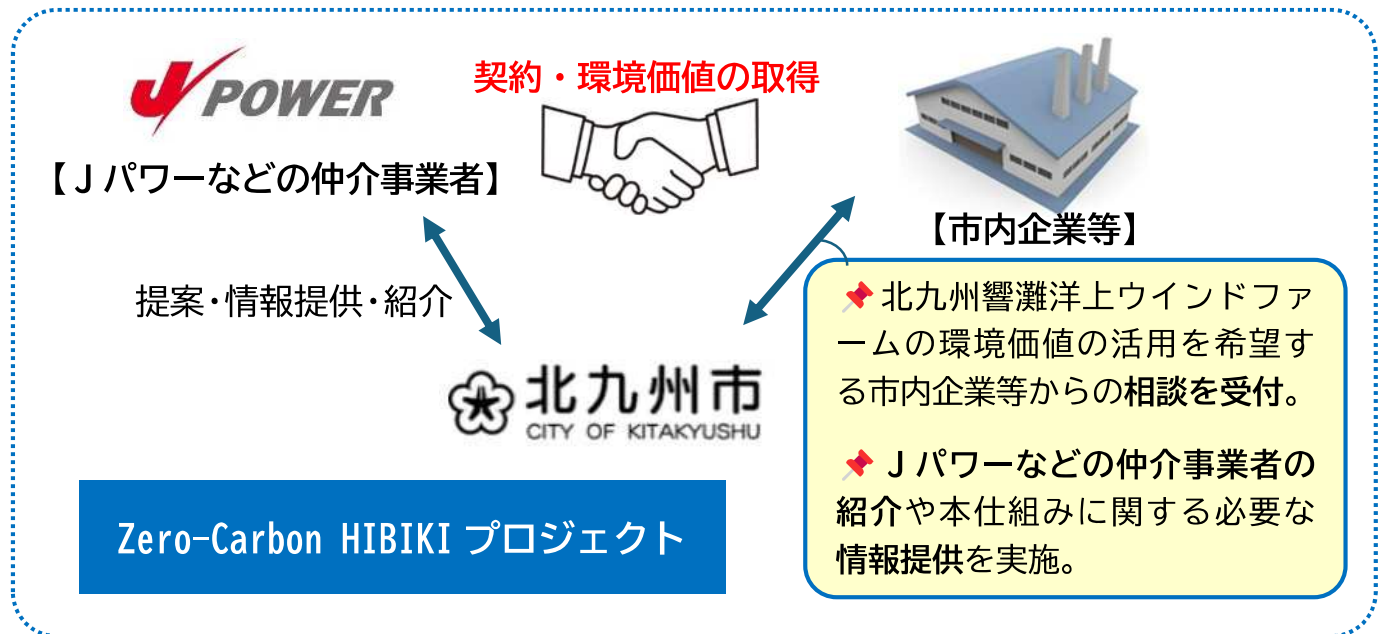
北九州市は、電源開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:加藤 英彰、以下「Jパワー」)と、国内最大級の「北九州響灘洋上ウインドファーム」由来の環境価値※を、市内企業等が既存の電力契約を変更せずに活用できる仕組みを構築しました。

この取組みは、市内企業における脱炭素経営のニーズが高まる中、北九州響灘洋上ウインドファームの環境価値を再エネ導入の新たな選択肢として提供することで、企業の競争力の強化と、地域全体の再エネ利用拡大の推進による、カーボンニュートラル達成への貢献を目的とするものです。

【Zero-Carbon HIBIKI プロジェクト(下図参照)】

市は仲介事業者との橋渡しを行い、地域企業のサステナブルな取り組みを強力に後押しします。
(第1弾がJパワーとの連携)

なお、北九州市の公共施設においても本仕組みを活用した脱炭素化を推進し、地域全体の再エネ利用拡大に向けたモデルケースとして展開します。



契約の概要等は別紙「Jパワー プレスリリース」をご覧ください。

※ 環境価値:再生可能エネルギーなどの電気が持つ「CO2 を排出しない」という付加価値のことで、使用する電力を再エネ由来として主張することができます。

<問い合わせ先>

環境局再生可能エネルギー導入推進課

電話 093-582-2238 担当 玉井、安川

北九州市と連携した脱炭素化の新たな取り組みを開始 ～北九州響灘洋上ウインドファーム由来の環境価値の活用～

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：加藤 英彰）は、福岡県北九州市による脱炭素化の推進および同市内で創出された再生可能エネルギーの環境価値^{※1}の有効活用の支援を目的として、Jパワーが北九州市に対し、北九州響灘洋上ウインドファームに由来するトラッキング付FIT非化石証書^{※2}の調達を代行する契約を締結しました。

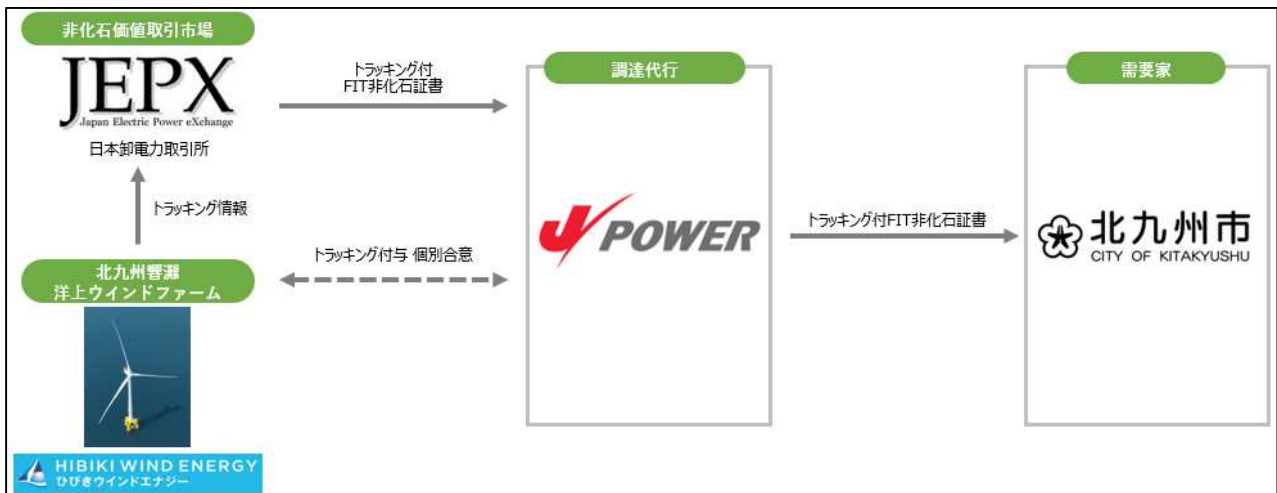
※1:再生可能エネルギーなど、発電時にCO₂を排出しない非化石電源に由来する価値。

※2:非化石電源に由来する環境価値を証書化したもので、電力そのものとは切分けて取引・活用されるもの。

本取り組みの概要

本件は、Jパワーが出資するひびきウインドエナジー株式会社が運用する北九州響灘洋上ウインドファームに由来するトラッキング付FIT非化石証書を、Jパワーが市場より調達し、北九州市がそれを活用する取り組みです。

トラッキング情報には、発電所名、電源種別、所在地、運転開始時期等が付与されており、地元に立地する再生可能エネルギー電源との関係性を、対外的に分かりやすく示すことが可能となります。



北九州響灘洋上ウインドファームについて

Jパワーを含む5社が共同で出資し設立したひびきウインドエナジー株式会社が運用する北九州響灘洋上ウインドファームは、2026年3月に営業運転を開始した国内最大の洋上風力発電所^{※3}

です。年間約 5 億 kWh の再生可能エネルギーを供給可能であり、これは一般家庭約 17 万世帯分の年間電力使用量に相当します。

※3 参考:[2026年3月2日付プレスリリース「北九州響灘洋上ウインドファームが運転を開始しました」](#)

意義と今後の展望

本取り組みは、北九州市内に立地する再生可能エネルギー電源に由来する環境価値を活用することにより、北九州市が掲げる脱炭素社会の実現と、再生可能エネルギーを核とした「エネルギーの自立したまちづくり」を支援するものです。

Jパワーは、風力発電を中心とした豊富な再生可能エネルギー開発実績を活かし、今後も自治体・企業と連携しながら、地域と共に歩む再エネの活用を推進してまいります。

なお、北九州市の取り組みは、別途「北九州市プレスリリース」をご参照ください。

以 上

【問い合わせ先】

Jパワー広報・地域共生部 向吉、鎌上、藤重

TEL : 03-3546-9378 (直通)